



TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」
そんなコンセプトで贈る塾通信

★今月のトピックス★

「毎日 1%の成長を繰り返すこと」の本当の意味 入試直前、不安なあなたに贈る言葉。

皆さんこんにちは！坪田塾です。

2019年が始まりましたねー！！
新しい年が始まると、
なんとなく新しいことを始めてみたくなったり、
身の回りのものを新調したくなったりする方も
いらっしやるのではないのでしょうか？
何かが新しくなる時って、ワクワクしたりしますよね～！



さて、今月のトピックスは2部構成です！
ぜひ、ご一読ください！

● 1月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	2/1	2/2	2/3

「毎日 1%の成長を繰り返すこと」の本当の意味

皆さん、こんにちは。車道校 講師の阪本です。

本年もよろしくお願いいたします。

年も明けて、入試シーズン本番直前。

受験生は、ひたすらセンター試験の対策や過去問演習に取り組んで、

「年末年始もない」状態ががんばってくれていたと思います。

(・・・受験生にとっての「あけましておめでとうございます」は、4月1日ですね♪)

受験生以外も、先輩たちの緊張感に未来の自分の姿を重ねてきていることだと思います。

入試本番直前ともなると、もうこれまでに積み上げてきたもので勝負するしかないですし、いつも以上に「四の五の言わずにやれ(笑)」というモードに突入していますが、

受験生もそうでない子も、保護者様をはじめとした周りで支える大人の方も、共通して意識してほしいことについてお話したいと思います。

//////

皆さん、入塾のときの説明会で、

「毎日 1%の成長を 1 年続ける」と「1 年後に何倍になるか」

というお話を聞いてもらっていると思います。

何倍だったか覚えていますか？(笑)

少し思い出してみてください。

...

...

...

答えは「**37.78倍**」です。

細かい数字は一旦置いておいて、

ちょっとしたマジンガーZくらい、

要は「ケタ違いに大きく成長できる」というお話でした。

とはいっても、説明会の際に話を聞いて「ふんふん、なるほど！」となっても、
だいたい忘れてしまいますよね。

ただ、私も含めて大半の人は「新しい話を一度聞いてずっと覚えている」

なんてことはないのです、大丈夫です(^_^;

(それを言ったら、勉強で反復の必要はないということになるので)

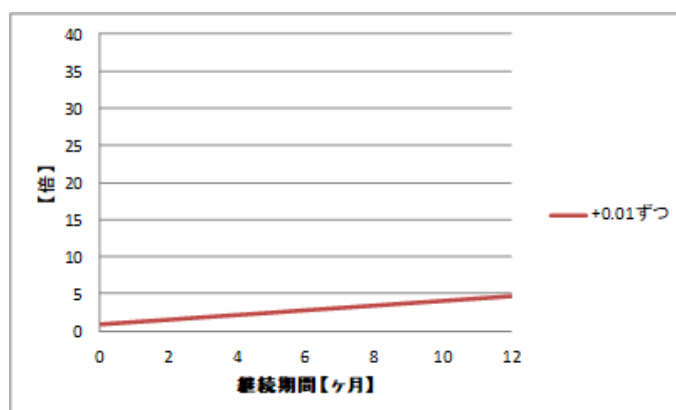
今回は、

そのおさらいと併せて、「**では、それをいつ実感できるか**」というお話です。

まず、「1%を1年、365日積み上げるとどうなるか」という

【一般的なイメージ】は、こんな感じだと思います。

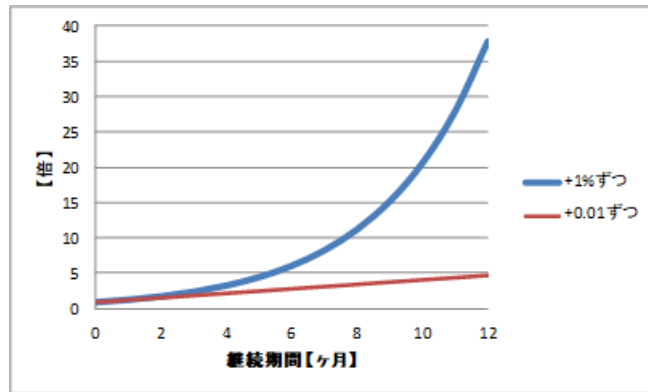
(横軸は、見やすいように「〇〇日」ではなく「〇〇ヶ月」としてあります)



0.01 を 365 回、単純に積み上げて 1 年後には 4.65 倍、

「まあ、伸びてるといえばそうなんだけどという感じ」ですね。

ここに、本来の意味での「毎日1%の成長を1年続ける」ことを【青線】で重ねてみると、こうなります。



比べると、なんだか**途中から一気に伸びてきています**よね。
これがどういうことかというと、

たとえば、英語の学習では、

毎日やっていることは「今日も単語10個」とか、「目の前のことに追われ」、
「やってもやっても全然成果出ないじゃん」とか言いながら、それでも毎日毎日続けていくと、

だんだん語彙が増えてくる。

⇒辞書を引く頻度が少なくなってくる。

(ここは最初、かなりの時間を割いているはずです)

⇒「同じ時間でできる問題や演習」が増えてくる。

⇒語彙以外のことでも、「やった時間に対して身につくこと」が増えてくる。

(文法の知識や長文の読み方など)

⇒それを基に、【次のステップではさらに】

「同じ時間でできる問題や演習」が増えてくる。(学習スピード up)

というスパイラルを繰り返して「できること」がどんどん増え、

ある瞬間を超えたところから【ポーン!】という感じで飛躍的に跳ね上がってきます。

これが、いわゆる「複利効果」です。

数学の学習とかでも、「ただひたすら計算に追われている」というような状態から、それでも毎日毎日続けていくと、

だんだん計算力が上がってくる。

⇒1問を解くのにかかる時間が短くなっていく。

(数学の学習において、ここはかなり大きいです)

⇒「同じ時間でできる問題や演習」が増えてくる。

⇒「やった時間に対して身につくこと」が増えてくる。(公式や解法など)

⇒それを基に、【次のステップではさらに】

「同じ時間でできる問題や演習」が増えてくる。(学習スピード up)

という感じです。

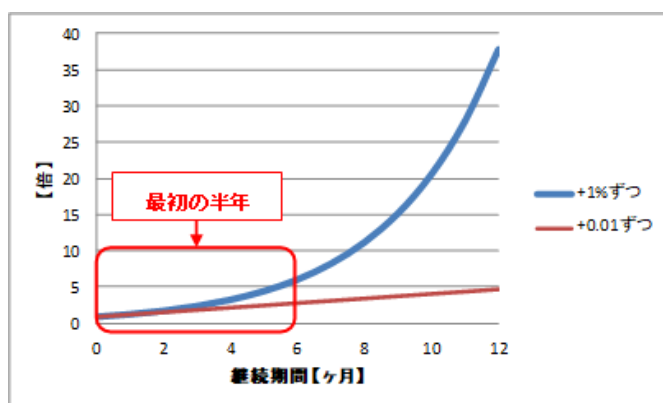
これは英語や数学の勉強に限らず、学習や成長というか、

「努力と成果」に関わる【あらゆること】で【共通】です。

残る問題は、先ほどの「では、それをいつ実感できるか」ですね(笑)

ここで、少しグラフを切り取って見ていきます。

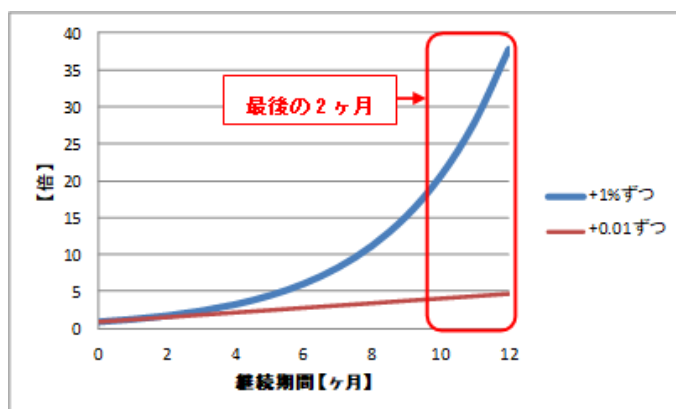
たとえば、勉強を始めてから「半年くらい」経ったところはココです。



さっきの「0.01 だけ単純に積み上げたイメージ」と大差ないですよ。

この時点では、「自分が本当に伸びているのかわからない」という段階です。

では次に、勉強を始めてから 10 ヶ月から 12 か月目を切り取ると、こうなります。



ここだけで 2 倍くらいに成長するので、「もはや別人」という感じですね。

つまり、どういうことかというと、

- ・ 1 年で考えた場合に、「成長を実感するのは最後の 2 ヶ月」
- ・ それは、受験生であれば「入試本番シーズンに突入してから」

ということです。

毎年のように、

- ・ センター試験直後には「2 割しか取れなかった」過去問が、最後には「8 割以上取れるように」なったり、
- ・ 「前期試験では届かなかった」大学に「後期試験で合格」したり、

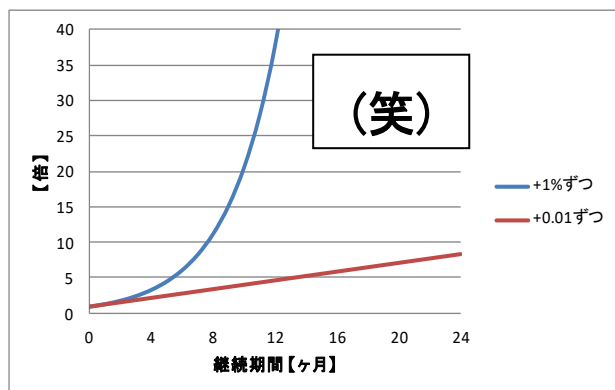
といった生徒さんも出てきます。

もちろん、必要な科目の数やそれまでに積み上げた内容によっても、

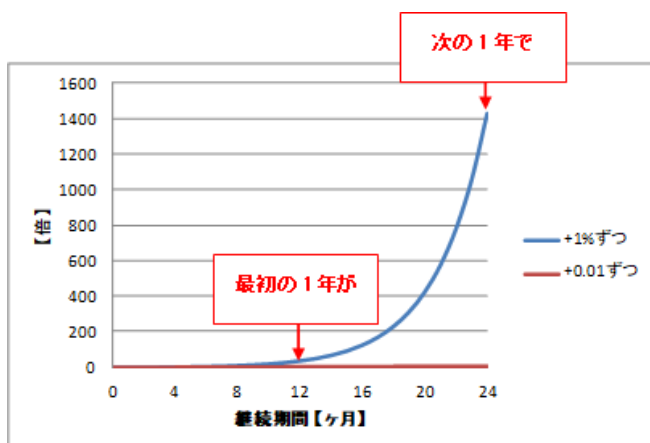
「点数でどれだけ伸びるか」は変わってきます。

ただ、土台として「それまでの積み上げ」があれば、こうしたことは奇跡でも何でもなく、理論的にも「たしかに！」となります。

ちなみに、参考として「1年」ではなく「2年」でグラフを見るとこうなります。



・・・意味が分からないので、縦軸を【40倍】にしてみます！！



・・・もはや最初の1年の成長がかすむくらい、普通に考えたら「もはや意味がわからない！」という状態です(笑)

これだけのことが「継続は力なり」のたった一言だけに集約されている日本語もすごいなと思いながら(笑)、

受験生は、

「後期試験までの最後の2ヶ月で、これまでに経験したことがないくらい伸びる」

受験生以外は、

「来年以降そうなると信じて、今はただ目の前のことを積み上げ続ける」

ことを続けていくために、

「今やるべきこと」に集中できるよう支えていきたいと想います。

まずは目の前の一日一日で、「1%の成長」を繰り返していくことができるよう、
一緒にがんばっていきましょう！

入試直前、不安なあなたに贈る言葉。

こんにちは、本郷三丁目校の水谷です。

さて、入試も近づいてきましたね。

受験生の方は、怖くなったり気持ちが焦っているかもしれません。そんなあなたに、贈る言葉です。

① 頑張ってきた自分、今まで勉強してきた自分を認めよう。

やってきた勉強のノートや参考書を見返してみましよう。自分の勉強遍歴を振り返ろう。

他の人とではなくて、過去の自分と比べて、今の自分の成長に気づきましよう。

あなたの今の子別ノートの下には、入塾した時からの厚みが隠れています。

チェックテストを解き、先生とやり取りしてきた歴史があります。

自分だけではわからなかったら、先生に、ぜひ聞いてみてください。

「どれぐらい入塾した時と比べて、今、私は、成長しましたか？」と。



② 緊張したり不安になるのは、今まで頑張ってきた証拠。

どうでも良いことに対して挑戦するとき、人間は怖くなったり不安にもなりません。自分の今までの快適な範囲（コンフォートゾーン、と呼びます）から外に出て、挑戦したときの経験で、人は成長していきます。

③ 受験日前日まで、正しい勉強の仕方をしていれば成績は伸び続ける。

ギリギリまで決して、あきらめないでください。その最後まで粘りが答えてくれます。そして、受験前日に見ていた単語や用語がそのまま出る事もあります！

（私、水谷も大学受験前日に読んでいた参考書から、そのまま出題された経験がありますよ！！）

④ 受験は、大人になる練習、成熟する訓練。

入試は、時間内に決まった量の仕事を処理していくことの練習や、入試の時に、困ったときどのように決断するか訓練です。

そしてこの受験勉強と受験のプロセスで起こる出来事も、気持ちの浮き沈みもすべてかけがえのないあなたの経験。

焦ったとき不安になったときに、自分が自分を好きになる選択肢を選んでみてください。それが後に自分の自信と納得感につながります。

⑤ 本当に嫌になったら、全く受験勉強をやらない日を、離れた日を作ってみるといい。

勉強から完全に離れてみると、どんな気分がするか。

これも受験前にしか味わえない気分でもあるからね♪

⑥ 不安なままでも行動できる。

悩むのもいいが、最後はどれだけ行動するか、手を動かすか、が一番大事。

やる気やテンションの低さと、パフォーマンス(点数)は関係ありません。

むしろ体調や調子が悪い時にどれだけ、

問題を解けるか・低空飛行でも結果が出せるかが大事です。

やる気なくても、手は動かそう。

動き出したら、後からやる気はついてきます。

不安なままでも、行動はできます。

そして、理想は頭の中で完結していつまでも描くことができます。

だけど、行動のみが、この地球上では、自分の人生を変えていきますよ♪

応援しています。最後まで一緒に走っていきましょう！